

開館にあたって

事務局長 竹 田 信 一

科学文化センターの開館がまぢかになりました。現在、11月23日をめざして最後のしあげを行っております。

科学技術が発達した今日、科学技術についての関心の高まりとともに自然保護や、自然と人間との調和について考えなくてはならない時代です。このような時代に、「緑と文化のまちづくり」の一環として、富山市が科学文化センターを建設したわけです。

科学文化センターは、郷土富山を中心として幅広く自然科学について資料を収集・保管し、調査研究を行い、その成果を展示や普及活動に生かす一方、これらの資料や情報を市民の皆さんに気軽に利用していただく施設です。

展示は見て、触れて、楽しむ中で科学的なものの見方が育つような、また、新しい発見ができるようなものでありたいと考えています。さらに、日進月歩の科学の進歩をたえず展示にとりいれたいと考えております。

また、特別展では調査研究活動やサークル活動の成果の紹介、収蔵品や寄贈品の紹介を行います。

普及活動としては、自然教室・科学教室・生活科学教室・天文教室・科学映画会などの催しをとおして、またサークルや友の会などの自主的な活動をとおして市民の皆さんの自然科学に関しての諸活動を盛んにしていきたいと思ひます。このほかに、リーフレットやパンフレットなどの出版物による普及活動も行っております。この普及雑誌「とやまと自然」もその一つで、おかげさまで、すでに通巻第7号をむかえることができました。

私たちは市民の皆さんと科学文化センターとの結びつきを、より深いものにしたいと思っております。日常生活の中で自然科学についての質問がありましたら、お気軽に科学文化センターへおい出になるか、あるいは電話や手紙をくだされば、御要望におこたえするよう努力したいと思ひます。

科学文化センターを十分利用していただきますように、また、皆さまの励ましをお願いして、ごあいさついたします。